

「責めたる根」への勝利

いと高き方の隠れ場に住む者は、全能者の陰に宿る。私は主に申し上げよう。「わが避け所、わがとりで、私の信頼するわが神。」と。詩篇 91:1-2

主は狩人のわなから、恐ろしい疫病から、あなたを救い出されるからである。主は、ご自分の羽で、あなたをおおわれる。あなたは、その翼の下に身を避ける。主の真実は、大盾であり、とりでである。詩篇 91:3-4

まことに主は、あなたのために、御使いたちに命じて、すべての道で、あなたを守るようにされる。彼らは、その手で、あなたをささえ、あなたの足が石に打ち当たることのないようにする。詩篇 91:11-12

彼がわたしを愛しているから、わたしは彼を助け出そう。彼がわたしの名を知っているから、わたしは彼を高く上げよう。詩篇 91:14

もし石に刻まれた文字による、死の務めにも栄光があって、コリント人への手紙第二 3:7

まして、御霊の務めには、どれほどの栄光があることでしょう。罪に定める務めに栄光があるのなら、義とする務めには、なおさら、栄光があふれるのです。コリント人への手紙第二 3:8-9

神である主は、その土地から、見るからに好ましく食べるのに良いすべての木を生えさせた。園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木とを生えさせた。創世記 2:9

しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」創世記 2:17

罪に定める務めに栄光があるのなら、義とする務めには、なおさら、栄光があふれるのです。コリント人への手紙第二 3:8-9

1. 深い所にある「責め」の根っこ

そのようなわけで、私たちは、心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか。ヘブル人への手紙 10:22

もしそれができたのであったら、礼拝する人々は、一度きよめられた者として、もはや罪を意識しなかったはずであり、ヘブル人への手紙 10:2

そのとき私は、天で大きな声が、こう言うのを聞いた。「今や、私たちの神の救いと力と国と、また、神のキリストの権威が現われた。私たちの兄弟たちの告発者、日夜彼らを私たちの神の御前で訴えている者が投げ落とされたからである。ヨハネの黙示録 12:10

こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。ローマ人への手紙 8:1

その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世にその誤りを認めさせます。罪についてというのは、彼らがわたしを信じないからです。ヨハネの福音書 16:8-9

また、義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。ヨハネの福音書 16:10

2. 義に目覚め、罪を退ける

もしひとりの人の違反により、ひとりによって死が支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりの人イエス・キリストにより、いのちにあって支配するのです。ローマ人への手紙 5:17

目をさまして、正しい生活を送り、罪をやめなさい。神についての正しい知識を持っていない人たちがいます。私はあなたがたをはずかしめるために、こう言っているのです。コリント人への手紙第一 15:34
義に目覚めなさい。そして罪を犯すのをやめなさい。」(Awake to righteousness, and do not sin. NKJ) (

こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。ローマ人への手紙 8:1

もしひとりの人の違反により、ひとりによって死が支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりの人イエス・キリストにより、いのちにあって支配するのです。ローマ人への手紙 5:17